



栃市道整第99号
平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

栃木市長 日向野 義幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

日ごろより、本市道路行政に対し、格別なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付、国道企第37号によりご依頼のありました、標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたします。

記

提出物	様式1 1部
	様式2 1部
	様式3 1部
	様式4 1部

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

栃木県 栃木市

道路特定財源については、平成21年度から一般財源化することが閣議決定されましたが、具体的な方向性は決定されていません。無駄を排除し、真に必要な道路整備を行う計画策定をするうえで、地方道路整備臨時交付金の存続や幹線市道の道路補修費に係る補助金制度の整備など地方の厳しい財政状況を考慮していただき、必要な財源を確保してほしい。

また、活力あるまちづくりのための渋滞対策、物流効率化による地域経済発展、さらには、災害活動などを支えるための高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備推進をしてほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

栃木県 栃木市

○現状 ・ネットワーク化された市道整備が不十分であり、円滑な通行に支障がある。 ・狭あい道路、歩車道が分離していない道路、不規則な交差点があるため、歩行者や自転車の通行上危険である。	○課題 ・円滑な通行が図られるよう、幹線道路ネットワークの構築が必要である、また、狭あい道路においては、円滑で安全な通行を確保するために道路拡幅が必要であるが、財政面を考慮すると実施に困難が伴う。
---	---

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

様式 ③

栃木県 栃木市

- ・活力ある地域づくりのための道の道づくりとして、国道、県道などの広域道路網と連携した市域内の道路網整備や、公共公益施設等のアクセシブルなための道路整備。
- ・安全で人にやさしいみちづくりとして、全ての人にとって安全で安心なバリアフリーに配慮した道路整備や、歩行者・自転車者が安全に通行できる道路整備。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

栃木県 栃木市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
交通安全対策	小学校付近の市道は通学路であるとともに、大型商業店舗へのアクセス道路となっているなど歩道の確保が必要。	歩車道を分離することにより、児童や買い物客の通行の安全確保が図られる。	
自然災害対策	自然公園内を縦貫する観光道路における法面保護工事。	観光客の安全な通行の確保や更なる観光の活性化が図られる。	
生活道路確保対策	道普請事業	原材料を支給された地域住民が、身近な生活道路の改良工事等を施工することにより、地域密着型の整備促進が図られる。	